

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 6年6月25日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市本庄町大字本庄1153-10
団 体 名 特定非営利活動法人通院送迎サービスふれあい
代表者職・氏名 理事長 中 島 安 雄
電 話 番 号 0 9 5 2 - 2 9 - 2 7 0 5

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和5年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人通院送迎サービスふれあい
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

人工透析患者は、週3回、1回あたり4時間から6時間の透析治療を行なうことで生命を維持しておりますが、現在、透析導入の平均年齢が70歳と言われるように、患者が高齢化し、また、長期透析による合併症が原因で、1人で通院できない患者が急増している状況にあります。このような中私どもでは、一般市民のボランティアの方の空いた時間と自家用車と運転技術を提供して頂き、通院困難な患者さんの送迎を行なっています。

しかしながら、新規の送迎ボランティアの方の確保や、事業継続のための運営資金の確保など、今後もこの事業を円滑に進めていくための課題は山積しています。今後も人工透析患者の方に通院送迎サービスに関する事業を行い、人工透析患者の方の通院困難者が少しでも解消できることを目的にし活動していきます。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようなつながったのか

福祉有償運送事業による透析患者の通院送迎事業は、延べ23名の利用者数、佐賀地域879回、唐津地域334回、杵藤地域456回、伊万里地域1,179回で年間合計2,818回の利用回数でした。利用透析患者の通院への不安を少しでも解消することができたと思います。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
福祉有償運送事業	①人工透析患者に対して、通院介護サービスに関する事業などを行い、人工透析患者の社会的入院の解消及び日常生活の質の向上に寄与することを目的とし活動した。 ②透析施設に通う透析患者 ③一般市民による自家用車を使つての透析患者の通院送迎	①2023年4月～2024年3月 ②佐賀地域、唐津地域、杵藤地域、伊万里地域	864,458	423,974
計			864,458	423,974

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		449,863
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	449,863
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	442,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	7,863
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		449,863
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	423,974
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	25,889
	返礼品等の調達に係る費用	12,000
	返礼品等の送付に係る費用	4,180
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	9,709

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://fureaisaga.web.fc2.com/>